

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：環境課

施策名	28 循環型社会
政策名	安心な「暮らし」を守る
施策がめざす将来の姿	・環境に対する市民意識が高く、ごみの分別とリサイクルが徹底されているため、きれいなまちが保たれています。

2 施策評価指標

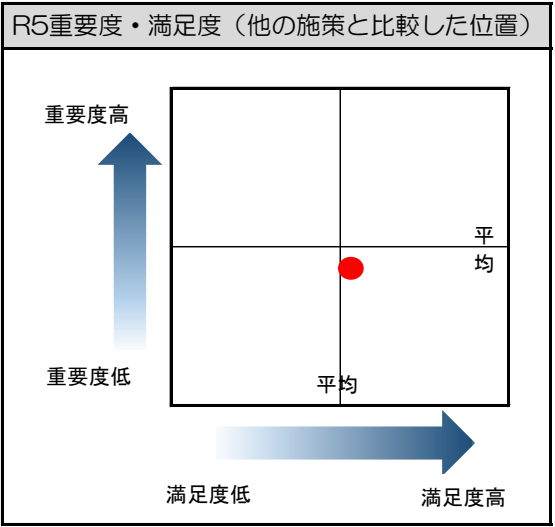
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
1人1日当たりの ごみ排出量	g	870	906		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	822				

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和5年度
98.8

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和4年度		令和5年度
88.9	➡	89.1

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

重要度・満足度が高い水準にあり、事業が十分機能していることがうかがえます。今後もリデュース、リユース、リサイクルの3Rなど廃棄物の減量、適正排出についての啓発や、自らの土地は自ら不法投棄から守る意識の向上などに取り組みます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：廃棄物減量促進事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
38,840	廃棄物減量啓発	→	↗	積極的な啓発活動、生ごみ減量補助の促進を行い、一般廃棄物処理基本計画の着実な運用を進めます。リサイクルの促進のため、資源ごみ集団回収事業の支援の拡大を検討します。	○
	資源ごみ集団回収事業 奨励金	↗	↗		

事務事業名②：不法投棄監視事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,007	不法投棄防止啓発	→	↗	土地の管理者が自ら不法投棄を防止する必要があることをより広く広報するため、適切な広報活動に努めます。また、ショート動画による啓発など、新しいメディアによる新しい広報について検討します	○